

【施策優先度評価区分】 (⇒次年度基本方針)

成果重視

- ① 予算増で成果向上 (重点施策)
- ② 予算維持で成果向上 (成果重視施策)
- ③ 予算維持で成果維持 (維持施策)
- ④ 予算減で成果向上 (効率化施策)
- ⑤ 予算減で成果維持 (成り行き施策)

コスト重視

(留意点)

- ・ 施策優先度評価結果は施策全体の基本方針であり、各施策に位置付けられる事務事業全てに一律に適用されるものではありません。
- ・ 成果については、基本的に全てにおいて向上を目指すことが前提であり、向上と維持の違いは、求められる度合いの違いです。
- ・ 予算維持だからといって、現状レベルの予算が担保されるとは限りません。相対的に維持という評価結果でも、市全体の財源枠が縮小すれば、削減が求められます。

優先度評価の3つの視点

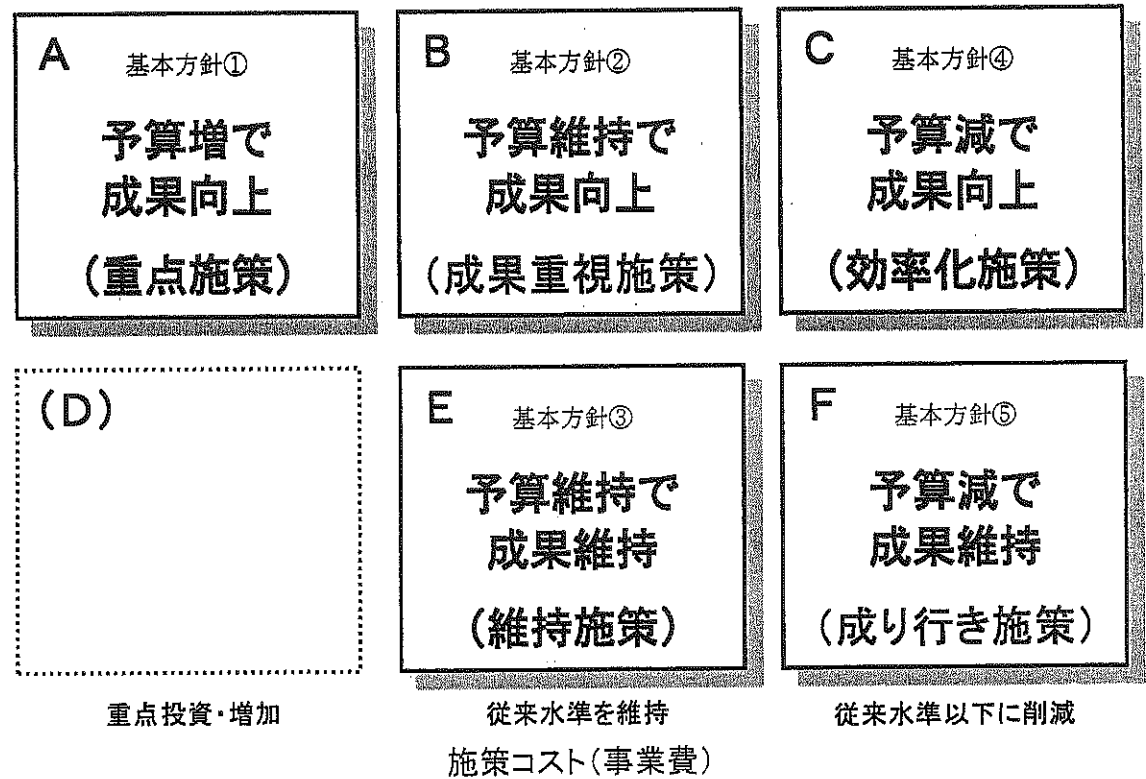
- 《施策目的達成度》

総合計画に掲げる施策の前年度の目標がどれくらい達成されたのか各施策の成果指標の目標値に対し、実績値はどうだったのか振り返りを行う
- 《市の役割発揮度》

施策の成果の向上を図る際に、市としてどれだけ役割をはたしてきたか、国・県との役割分担や、住民や事業所との役割分担からどのように特徴づけられるか、施策の成果に対する市の役割がどうだったのかを各施策振り返りを行う
- 《コスト削減優先度》

重点施策には重点投資をしながらも、全体の事業費を総枠で抑えるためにどの施策を抑えるかを明らかにする

向上
施策の成果面
維持



施策優先度評価結果

H20.11.20 総合計画委員会 施策方針決定会議時点

※基本方針変更箇所

向上

基本方針① A 予算増で成果向上	
1-2	産学官連携と企業誘致による地場産業の確立
※1-3	空陸交通ネットワーク高度利用による企業誘致の促進
1-5	雇用サポート体制の拡充による雇用促進
2-2	県内外からの移住・定住化、二地域居住の促進
※4-1	安心して育てることができる子育て支援の充実
4-2	活力と特色ある学校教育の充実
※4-4	創造性豊かな芸術文化の振興

基本方針② B 予算維持で成果向上	
※1-6	ICTの推進
※5-1	小さな市役所構想と協働の推進
※5-3	防災体制・減災対策の拡充

基本方針④ C 予算減で成果向上	
2-7	住み続けたい住環境づくり
※6-2	職員の意識改革と行政システム改革の推進

施策の成果面

維持

D	

基本方針③ E 予算維持で成果維持	
1-1	2次・3次産業との融合による強い1次産業の育成
1-4	賑わいのある商店街の再生
2-1	まちぐるみ観光サービスの産業化
2-3	人と自然が共生できる環境づくり
2-4	地域の特性を活かした適正な土地利用の推進
2-5	良好な市街地の形成
3-1	みんなで進める健康づくり
3-2	病診連携による地域医療の充実
3-3	高齢者や障害者がまちで暮らす真のノーマライゼーションへの取り組み
4-3	競技・生涯スポーツの推進
5-2	NPOの活動促進と支援
5-4	身近な生活安全の確保
5-5	男女共同参画社会の実現推進
6-3	柔軟な人事システムと組織制度の構築
6-5	持続可能で自立性の高い健全財政の確立

基本方針⑤ F 予算減で成果維持	
2-6	快適で便利な道路網と公共交通体系の構築
4-5	豊かな心を育む生涯学習の推進
6-1	便利で質の高い市民サービスの提供
6-4	情報公開の推進と広報広聴活動の強化

重点投資・増加

従来水準を維持

従来水準以下に削減

施策コスト(事業費)